

は云ひながら相當の閱歷をもつた相當年輩者が多かつたから、三ヶ月位教育學の授業を受けると直ぐ一人前の小學校先生となつて各校に赴任した。明治九年には六ヶ月修業年限と一ヶ年のものとを併置したが、學校の位置があまり適當でないので、舊尙徳館跡は舊藩以來教育に縁故の深い場所柄であるから七月になつて移轉し、その跡を鳥取縣鳥取公立師範學校と改稱した。これが現在の縣廳前師範學校である。かくして縣下教育の基礎を固めようと非常な意氣でそれぞれ着手しかけて居たのであるが、九月には鳥根縣に合併されて仕舞つたので鳥根縣鳥取師範學校と名も更まり總てが一頓挫することになつて仕舞つた。然るに鳥根縣は鳥取に師範學校を置くを喜ばず、因伯二州の教育にそれ程力癩を入れないでもよいと云ふ偏見から、事實上の師範學校取潰しを企て十年十一月師範學校を中學校に合併せしめ、たゞ師範學校は名のみ

殘存することにして仕舞つた。職員も前記田中尙、遠藤董兩氏の如きは松江師範に轉任せしめそれ以外は悉く被免した。途方に暮れたのは生徒である。かような亂暴至極な縣當局、教育の何物たるかも理解せぬ様な縣當局、在校中の生徒の跡始末もしない様な縣當局、こうした態度に非常に憤慨した或者は退學し、或者は中學校の組に入りて、松江師範の生徒に轉じたものは僅かに八、九名しかなく、名ばかり残つた鳥取師範學校は明治十三年六月全く廢校されて仕舞つた。たつた一つ残つた小學校も生徒が迫々減少するばかりで、十三年頃同校を視察した人の日記を見ると非常に心細い様子がまぎまぎと書かれて居る。此の如く凡ゆる部門に互つて鳥根縣當局の措置に不平、不満のある鳥取縣民は急速に鳥取縣の再置を必要とすることに再認識すると同時に、中央當局の失政を究明することに縣民の總意は一致するに至つた。(續く)

## 静岡縣に於ける道路愛護 (二)

海野彌之助

◎被表彰團體及道路工夫功勞者事蹟

賀茂郡三濱村道路愛護會

本會は昭和十二年七月結成村住民一戸一人制による機構にして會員五百二十五人を擁し會長に同村長を推し副會長に助役部長に各區長、評議員に土木委員を充て班長に各區長代理を委嘱せるものにして同村を通する府縣道仲木松崎線外一線延長七、六五〇米町村道全線一萬八千五十米を全作業區域とし年一回の一齊作業日の外毎月十日を常設的作業日と設定し事業遂行上四部十四ヶ班の作業部班を編成各部班役員の熱誠なる指揮統率の下に路面の修理、側溝の浚渫、雜草刈取作業に終始し而て同村地内は概ね山間部道路に屬し未改良部分の區域ある等平垣部地方に比し作業上容易ならざる努力と資材を要するも全員和衷協力眞劍味を以て易め舉村一致克く勤勞奉仕の實を擧げ殊に災害時に於ける應急措置等適切なるものある等現に昭和十五年度に在りては作業參加實人員一千九百三十人に及び本運動に貢獻する所尠からず南豆三濱の交通整備に邁進し臨戦下道路報國に實踐し其の實績顯著なるものあり眞に推奨するに足る

#### 田方郡對島村道路愛護會

本會は昭和十二年一月結成住民一戸一人制の外同村國民學校及光の村住民を以て組織し、會長に村長、副會長に助役、評議員に村會議員及土木委員、部長に各區長、學校長並光の村代表者を充て村内を貫通せる府縣道下田伊東線外、一線延長一萬四千九百米

町村道全線一七萬四千八百四米を作業區域とし毎年八月、十二月二回の一齊的作業日を設け事業遂行上之れを五區の作業部を編成一般道路の維持愛護に精進し、特に學校班は各校通學區域に分擔し常時清掃修理に易め常に隣接町村に劣らざる路面を保持し、亦災害時に在りては各部迅速出動緊急工作を施す等業績顯著なるものあり、殊に本村は伊豆東海岸に位し伊東、下田の泉都を繋ぐ樞要の地に在り自動車交通頻繁にして維持上容易ならざるも舉村一致克く勤勞奉仕の精神を以て終始し近時路面の状態を一斬せしめたる等交通上裨益する所尠からず、現に昭和十五年度に在りては作業參加人員千二百三十五人に及び極めて優秀なる實績を擧ぐる等眞に道路愛護の先驅團體として其の面目を發揮し他の範とするに足る

#### 駿東郡靜浦村道路愛護會

本會は同村警防團、在郷軍人分會、男女青年團、婦人會、岳陽少年團等を叫合渾然一體となり昭和十二年八月結成會長に村長を推戴し、副會長に少年少女團長たる同村國民學校長、評議員には村會議員並各團體長、幹部に同村土木主任及各團體役員部長に各區長、班長には各團體分團長等現職に在るものを夫々委嘱し、會員二〇九九人を擁せる團體にして、村内を縦貫せる府縣道土肥沼津線延長七千五百七十二米、西北は沼津市に接し御用邸を控へ東

南部沿線に靜浦灣を抱き伊豆溫泉郷に通ずる樞要地域にして、作業上之を六部の部班に編成、毎年二回の一齊作業を行ひ、更に本會員たる少年團員は副會長たる學校長指揮の下に校外教育の見地より精神陶冶の實踐として毎月一日、十五日及毎日曜日を常設的作業と定め何れも晴天作業として實施計畫を樹立し、爾來本運動は全く青少年團の壓倒的團結心を以て邁進し、吾等の道路を目標に職員擧つて指導監督に當り、道路の整理、路面清掃修理、側溝浚渫等の作業に精進し、尙夏季休暇中晝間二回の撒水作業を斷行する等、現に昭和十五年度に在りては作業回数五十八回、作業参加人員六万二千七十二人に及び其の熱意の溢るゝものあり。由來同村民は道路に關する觀念に乏しく道路敷地の占用又は穢損する等の事例多く、敢て之を顧るの風なく村當局は之れが矯正に當り常に苦慮せる所なりき、然るに愛護運動に依り道路の状態は著しく淨化し常に良好なる路型を保持し其の面目を一新せしむるに到れる等交通上裨益する所あるは勿論精神作興に寄與する所亦尠からざるものあり、既に前後三回に互り引續き表彰せらるる等其の實績顯著にして他の模範となすに足る

富士郡元吉原村道路愛護會

本會青年團、處女會、少年團三位一體の機構にして昭和十一年明治節を下して結成會員一千三百七十名を擁し、會長に少年團長

たる同村民學校長を推し、役員は總て各團幹部を充て統制連絡を圖り村内を縦横に貫通せる國府縣道及町村道主要路線總延長五千七百九十六米の區間を作業區域とし、作業統制上之れを三部班に編成毎月第一日曜日を一齊的作業日とし少年團、處女會に於ては毎月第二週以後各土曜日を定期的作業日に設定何れも晴天作業とし實施せるものにして、會長總指揮の下に全校職員協力一致指揮監督に當り眞摯なる動行を以て道路愛護に精進せり

抑も本會は大正十四年十一月少年團結成以來校外共同社會生活訓練、勤勞精神涵養の目的を以て奉仕事業の一樣相として毎週一回神社及道路の清掃を實行し來たりたるものにして偶々縣の道路愛護に關する諭告發布せるや奮然蹶起し、更に本事業の強化徹底を期し青少年團を一體となし郷土建設の基礎として其の動かさる根幹に確固たる計畫を樹立し村當局に諮ひ卒先道路愛護會を創設したるものにして同郡下に於ける結成團體に魁せり、然るに本村は附近一帶工場地にして交通量極めて多く殊に近時加速度的交通量の激増に對應し道路の維持保全の萬全を圖らんには不斷の努力と多大の勞力を擲くるに非ざれば完璧期し難きを痛感し、全員の總協力總努力に依り萬難を排して定期不定期作業の遂行と効果の増大に勵め東亞建設の牢固たる決意を堅持し作業に際しては銃後青少年の發刺たる意氣を以て一段と熾烈を加へ、容姿を整へ黙々として終始し之を透して民力の助長産業の伸展に寄與する所あり

現に昭和十五年度に於て實施回数五十九回、作業参加人員三萬二千九百二十五人に及へり、此の熱誠なる作業は一般村民並道行人をして均しく感謝の的となり地元民に在りては健氣なる青少年の勤行を坐視するに忍ひず自ら作業を助勢する者逐次多きを加へ且つ道路を汚損して顧みざるか如き弊風は斷然其の跡を絶つに至り一般社會教化に貢献する所頗る大なるものあり、茲に前後五回に及び其の實績を頌せらるゝ等道路愛護の先驅團體として其の面目を遺憾なく發揮し眞に臣道實踐の實を擧げたと謂ふべし

#### 庵原郡由比町道路愛護會

本會は昭和十二年三月十九日同町青年團四百三十三名を以て組織し、會長に同團長を推し副會長に同團副團長、部長に同分團長評議員に同副分團長を充て、町長、助役、縣會議員、各區長を推薦し町當局と連絡を計り、町内を通ずる國道一號延長千二百七十一米及町道全線延長二萬七千二百三十六米の長區間を作業區域とし、之れを十四部の作業部に編成各部毎月業務の閑散を利用して隨時一齊的に實施するものにして結成以來會員一致協力維持保全に全副を傾注し専ら業績の向上能率増進に努め、現に昭和十五年度に在りては作業總回数三十回、作業に参加せる者九百十七人、此延人員五百十七人に達し最も交通頻繁たる國道筋の保全に當り殊に同町は櫻海老の産地にして漁業區の青年團員は夜曳出漁の場

合と雖出動を敢てする等一致團結終始一貫せる會員の勤行は一般町民に反映し遂に沿道住民を感動せしめ自發的に作業を援助する者あるに到れる等一般社界にもたらす效果甚大にして既に前年度に於て其の業績を頌せらるゝ等模範的團體として推奨するに足るものなり

#### 安倍郡玉川村道路愛護會

本會は昭和十一年十二月村住民一戸一人制を以て組織し、會長に同村長を推し、副會長に助役、評議員に村會議員、部長に各字隣保班長を充て會員六百六十名を擁し、村内を通ずる府縣道井川靜岡線一萬六千二百米町道一萬五千百米總延長三萬一千三百米の區間を作業區域とし、全線を二十三部に編成毎年二回の定期的一齊作業を設定せるものにして會長の熱誠なる指導統率の下に團體的精神を堅持し、作業に際しては舊來の傳統的道普請の美風の倍々發揮し實施する等殊に大資源を抱擁せる安倍奥地井川村に通ずる唯一の路線なるも、未改良に屬する區域大部分を占め、而も山間部道路の常として自然急坂路多く崩土、取除、棧道の修理、路面修理、雜草刈取、技拂等平垣部作業に比し種々の工作を要することある等作業上尠からざる努力と修理用材料を要するものにして容易ならざるも専ら愛郷の至情を以て終始し亦常時維持愛護に不斷の努力を盡し、非常災害時に際しては警防團と協力し警防

應急工作に従務する等、現に昭和十五年に於ける作業回数二回、出勤人員一千二百五十四人、此延人員一千四百十一人に達し其の業績顯著なるものあり、既に先年表彰さるゝ等眞に推獎するに足るものなり

志太郡葉梨村道路愛護會

本會は昭和十二年七月結成村住民世帯主人一人制を主體とし、更に男女青少年團、在郷軍人分會、警防團等參加し渾然一體の機構にして會員二千八十五人を擁し、會長に村長、副會長に助役、評議員に村會議員、部長に各區長、各種團體長、班長に區長代理者、其他團體役員を充て幹事に道路委員、土木主任を委嘱し村内要職員を網羅せる堅實なる組織にして全く舉村一致の姿を發揮し、毎年二回の一齊作業の外毎月十日を常設的作業日に設定し、團體結成以來専ら舊慣による道普譚の傳統的美風を一段と昂揚し、會長並幹部の熱誠なる指導の下に各種團體は極めて圓滑なる連絡統制を圖り、村内を縦貫せる府縣道及町村道全線延長四萬二千二百米を作業區域とし事業遂行上世帯側十部、團體側六部の作業區を編成し、作業に際しては現下の時局に鑑み勞務時間の嚴制、作業方法の適正等規律整然の裡に路面修理、側溝浚渫、雜草刈取、橋梁溝渠の修理に終始し殊に警防團、在郷軍人分會、男女青年團に在りては一齊作業日前遠く瀬戸川より路面敷均用砂利を採取貨物自

動車を利用し運搬供出する等實質剛健の氣風を以て精進し總て作業計畫に付ては部落會、隣保班に於て打合萬全を期する所あり、尙村當局は本運動獎勵のため村豫算を計上し各部の實績を徴し獎勵金を交付する等目的達成に邁進し近時暑敷道路の状態を一新せり、現に昭和十五年度に在りては作業回数十二回、出勤人員二千二百六十二人、此延人員二千三百三十四人に達し其の實績顯著なるものありて交通上、勤勞精神作興上、裨益する所尠からず眞に他の範とするに足る

磐田郡袋井町道路愛護會

本會は同町住民一戸一人制を主體とし、之れに東西兩國民學校を參加せしめ昭和十三年六月結成會員二千二百人を擁し、會長に町長を推し副會長に助役、評議員に町會議員、部長に區長及國民學校長、班長には區長、幹事に收入役及書記を充て町内を縱橫貫通せる國道第一號、府縣道袋井横須賀線外二線、町村道二俣袋井停車場線、外四線、此延長二萬六千六百五十三米を區域とし統制上之れを各組よりなる作業部班を編成年四回及各月十五日を定期的作業日とし更に國民學校學徒班は隨時實施の計畫を獨立し常に町長、國民學校長以下幹部の熱誠なる統制の下に作業に精進し、現に昭和十五年度に於ける一齊作業回数四回、出勤人員四千八百七十五人、此延人員千九百五十二人に及び全員克く眞摯なる行動

を以て終始し其の實績極めて顯著なり

而して一般住民は從來如何に路面は荒廢し側溝は泥土に没し塵埃散亂せるも道路管理者の爲す處に倚頼し敢て顧みざる弊習なりしも、本愛護運動に依る實踐的眞髓に接觸し道路に對する觀念を認識すると共に愛護の念を感得し常に修理清掃に不斷の努力を注ぐ等、就中學生の愛護運動は十數年來の慣行により熱意熾烈にして其の活動亦活潑を極め、一般會員と呼應し獨り道路を良好なる状態に於て維持愛護するに止まらず、其の精神的雰囲気は一般民衆に無言の感化を與へ社會的に好ましき影響を及ぼすものある等倫理的色調を帯び其の功績偉大なるものあり、之等兩校の終始一貫せる校外生活指導の陶冶訓練に依るものにして茲に前後四回に互り其の業績を頌せらるゝ等他の範とするに足る

#### 濱名郡新所村道路愛護會

本會は村住民一戸一人制を以て昭和十二年三月結成、會長に村長、部長に各區長、評議員に村會議員、警防團長、在郷軍人分會長、青年團長を充て村内を通ずる府縣道新居三ヶ日線外一線、延長七千七百五十六米、町村道全線九萬一千五百四十五米を作業區域とし、事業遂行上之れを三區、十六部班に編成し毎年二回の一齊愛護日を設定せるものにして作業に際しては會員五百六十人悉く出勤し、各部長は縣土木出張所職員並道路工夫と連絡を計り指

揮監督に當り、路面の修理、側溝の修理、浚渫、雜草刈取作業等極めて眞摯なる動作を以て終始し作業能率向上に努め、團體結成以來終始一貫せる村當局の指導の下に多大なる實績を收め、現に昭和十五年度に在りては作業回数六回、作業出勤人員三千二百七人に及べり、而して本村は特に隣縣愛知の道路愛護事業に對應し不斷の努力を以て常に優良なる道路状態を保持する等交通上裨益する所尠ならず、其の成績眞に顯著なるものあり推賞するに足る

#### 磐田郡浦川町警防團道路愛護會

本會は昭和十二年二月警防團を以て結成、會長に同團々長、副會長に同副團長を推し、幹部は同團役員を充て會員五百貳名を擁し、事業遂行上十一部に區劃せる作業部を編成し更に四十五班を特設し毎年三回の定期的一齊作業日を制定し尙各部は其の交通情勢に應じ隨時實施するものにして町内を縱横に貫通せる府縣道中部新城線外二線延長貳萬四百米及町村道浦川半場線外二線の主要路線延長一萬貳千五百五十米を作業區域とせり

爾來本會は警防と交通整備とは密接なる關係を有するものなることを強調し、専ら公共的精神を標的に本運動に邁進し總て積極的方法を以て道路の機能發揮に全幅を傾注し、而して單に維持保全のみならず改良事業を計畫し作業路線たる府縣道二俣飯田線の

未改良に屬するを以て現下の狀勢に鑑み資源の開發上開鑿の急務なることを提唱し工費壹萬六千圓を計上本會の事業として施工を積むこと二ヶ年にして完成せしむる等克く會員協力一致不斷の勤行に努め殊に隣縣愛知の道路愛護に對應し常に優良なる路面狀態を保持し、尙同町青少年奉仕部隊を誘導し終始一貫恒久的事業として目的達成に精進しつゝあり、現に昭和十五年度に在りては作業回數三回其の出動人員一千九百四十人、此の延人員千七百四十六人に及び結成以來路面の狀態を一新せしめ、交通運輸に寄與する所尠からず地方開發生産の擴充に齎らす効果多大なるものあり、前年度に於ても頌せらる等其の業績推奨するに足るものなり

引佐郡三ヶ日町道路愛護會

本會は同町青年團で以て組織し昭和十二年一月創立せるものにして、曩に道路愛護に關する諭告發布せるや町當局は本事業は青年團の事業として恰好適切なることを強調し、同團長たる國民學校長と諮り同團員を提げ奮然參加し會長に町長を推し、副會長に助役及青年團長、評議員に町土木委員及各區長を委嘱し、幹事に町土木主任及同團副團長並幹事、部長に同團支部長を充て會員百八十八人を擁し町内を縦横に貫通せる府縣道氣質豊橋線外五線、

延長三萬三千八百七十四米縣下稀なる長區間を作業區域とし、全線を十五部班に編成、毎年四回の定期的一齊作業日を設定し、爾來

時代の急激なる推移に伴ふ社會的環境に即應し青少年の心身の鍛鍊を目標に伸ひ行く郷土建設の爲愛郷の念に燃ゆる團體員の潑刺たる意氣を以て之に當り其の成績の向上に邁進し、而して從來年四回の一齊的作業は既往の實績に鑑み之れを一回とし他の三回は常設的作業に充つるを最も效果的として之れを改革し、現に昭和十五年度に在りては作業回數四十三回、出動人員六百五十人にして其の數に於て少數なりと雖作業に際しては崇高なる社會奉仕の精神を發揮し、作業旗掲揚下に實質剛健の氣風を以て勤勞報國の熱と尊き汗を以て終始し更に同町國民學校少年團を動員連絡協調全線の維持愛護に充らしむる等隣縣愛知の道路愛護事業に對應し常に優良なる路面狀態を保持する等其の成績眞に顯著にして他の團體の追從を許さず、之等純眞なる奉仕作業は一般町民に對し愛護思想を昂揚せしめ道路の保全化、公德心の助長、公共物保護等自然界の美化に與へたる事例尠からず町當局に在りては本會に對し獎勵金を交付すると共に作業用具を貸與し専ら勸奨に努め殊に同町に本社を有する濠三自動車株式會社は團體の眞摯なる作業に感激し團體員の往復に自動車を提共し便利を與へる等一般社會に反映する所極めて多く、茲に前後四回に亘り頌表せらるゝ等其の業績他の範とするに足る

田方郡葦山村國民學校少年團

大正十四年四月校外團體教育を目標とし初等科第五學年以上の學徒を以て少年團を創設し爾來校外指導訓練の施設として奉仕事業の計劃を樹て兒童心身に相應せる道路の修理清掃に邁進し今日に至れり

現在團員は第三學年以上にして一千二百九人を擁し之れを訓練上通學區を基準に全團員を百拾四班に構成學區全線を分擔せるものにして毎月十三日、二十八日を作業定例日とし路面の修理、清掃、側溝浚渫作業を行ひ亦風水害時等に應じ臨時に實施し専ら道路愛護に努むる所あり

當村には道路事業に關する機關なく本團の校外指導價値と其の責任の大なるを痛感し全團一致毎月一日をトし團長より叫はれる宣誓の精神に基き無念其の作業に終始し、一般交通上寄與する所渺からず亦一面緊張せる勞作的團體精神の修養により多くの價値あることを認め専ら其の指導に努め、而して此れが銃後の務めの一端なることを兒童自身自覺する時喜々として作業に精進する姿は一般社會に無言の教化を與へる等實績顯著なるものあり、眞に職員兒童渾然一體となりて倍々本運動の目的達成に邁進し、現に昭和十五年度に在りては作業回数二十三回、出勤人員二萬七千二百五十人に達し實績顯著にして他の範とするに足る

### 三島市南國民學校勤勞奉仕團

時局に鑑み職員兒童一體となり報國の大道を行する一様相として特に兒童の意氣昂揚と心身鍛鍊の必要に措へ、加之東海の要路を擁する三島街の淨化に邁進し全校總力を擧げ集團勤勞を誓約、昭和十二年二月勤勞奉仕團を創設せるものにして同校初等科第三學年以上を主體とし下級兒童は隨意參加せしめ全員一千四百有餘人を以て組織し職員指導監督に當り毎月一日十六日を定期的勤勞奉仕日に設定、早朝作業として神社の清掃並に同町を縦横に貫通せる通學區内の國府縣道、町村道全線を區域とし統制上第四班に編成道路の維持保全に當れり

抑も本團は建國紀元の質節をトし曉朝官幣大社三島神社に於て本團の結成と事業實踐に關する盟約を奉告し嚴肅裡に結團式を擧げ茲に勤勞愛好の道に參する誓も堅く直に所定の作業を開始し全線の修理清掃を完全に行ひ其の眞隨に觸れしめ第一印象を與へ、爾來毎回神社に集合參加人員の點檢を行ひ、所定の修祓、玉串奉奠、禮拜、祈願、參拜歌齊唱御製奉唱に次ぎ作業事項を指示し一部女子班を境内清掃に充て外全員各部署に付かしめ、更に低學年兒童に對しては應分の作業を課し特に虛弱兒童に對しては板製ますくを使用せしめ、用具は概ね貸與し總て自ら以て其の範を示すと共に懇切なる指導に當り創設以來日淺きに不拘道路に對する憧憬と信念とを持し漸次指定區域外に亘り不斷の努力を拂ふ等、現に昭和十五年に於ける業績を徵するに實績回数二十四回、出勤人



員三萬五千三百二十六人に達し之等健氣なる學童の勤行により一般道路へ整齊せられ、水郷三島を明朗化するに至り一般町民より多大の賞讃を受け町當局を感激せしむる等交通上、保健衛生上寄與する所尠からざるのみならず、勤勞精神の陶冶訓練、體位向上、集團的共同勞作の美風を啓發する等其の功績顯著なるものあり眞に推獎するに足る

富士郡鷹岡町國民學校少年團

本校に於ける道路愛護運動は兒童校外生活指導の一様相たる社會奉仕事業として發動し、爾來終始一貫繼續し來りたるものにして郡下に於ける本運動の嚆矢たり、抑も本團は團員千四百餘人を擁し全町内府縣道延長四千米、町村道一萬二千米の全域を作業道場として之を統制上、通學分團更に各班別に編成し毎月第一及第三日曜日を作業日と設定、初等科第三學年以上の兒童を充て各區受持職員を擔當せしめ作業上監督作業し、男女別とし男子班は道路、側溝の修理清掃、女子班を神社地の道路及境内の清掃に従事せしむるものにして現に昭和十五年度に在りては作業回數二十七回、參加人員一萬六千八百人、之公會堂所在を八時間作業換算するときは四千七百二十五人に及び男女相呼應し教職員兒童渾然一體となる、極めて統制ある指導下に點々として作業に終始し隣接町村に於ける道路現況に比し毫も遜色なく其の實績大に見るべき

ものあり、之等純眞なる童心の不斷の努力に一般町民は感激し近時父兄男女青年團員等協力するものある等一般社會に反映する所大なるものあり、殊に本團に在りては本運動と併せ社頭教育に専念し倍々臨戦下に於ける青少年學徒の國民精神作興に邁進しつゝ、ある等實績顯著にして眞に推獎するに足る

庵原郡小島村小河國民學校少年團

本校に於ける道路愛護奉仕作業は、當初自治的に行はれ道路、神社の清掃を隨時行はしめたるものにして昭和八年少年團を創設同團の事業として社會奉仕のため道路愛護作業を勵行し現在に到れるものなり、本團は初等科三學年以上の兒童を以て組織し學區を四分團に編成更に四十班を以て構成し毎月一日、十五日をとし早天作業を一齊に行ひ、學區内神社、道路の清掃、修理、障害物の除去、側溝の浚渫、交通整備を行ひ、現に昭和十五年度に在りては作業回數五十回、出勤人員一萬六千人に達し其の成績顯著なるものあり、臨戦下勞力不足、國策遂行上勤勞作業を重視し而して教育を實踐的ならしめ心身を鍊磨し團體訓練を施す上に勤勞作業は緊要なるのみならず、兒童の國民的自覺を深め以て皇國民鍊成の實を擧ぐる重要な意義あり、歸一隨順奉仕の精神を以て眞き業を通し勤勞の實踐を通し我を捧げつくす態度に於て全力をつくす行的作業として行はしむ、更に歩を進め勤勞奉仕食糧増産に

邁進しつあり、されば一般村民も教兒一體黙働の道路愛護作業に對し感謝し作業用具、金品を寄贈されたる事度々あり、學區よりも勤勞奉仕獎勵金を贈られる等社會教化の反映亦大なるものあり

#### 志太郡瀬戸谷村第三國民學校

本校は先に道路愛護精神強調さる、や其の趣旨とする所兒童校外生活態度修練上有意義且時宜に適應せるを認め、之を校外指導の目標たる心身鍛鍊、社會公共の奉仕精神涵養、公德の養成、勤勞愛好の氣風馴致等國民精神暢達練成に及ぼす效果甚大なるを信じ、直に實行に移り初等科第三學年以上の兒童を、六區の通學區別に編成し各區兒童役員を中心とする自治的活動を獎勵すると共に學校職員又一致協和、業を兒童と同じうし、爾來數年道路清掃修理、危險物除去、側溝浚渫作業等に努め殊に降雨後に於ける道路損傷ヶ所の修理並交通頻繁なる地點の特別作業等毎月第四土曜日を設定とし放課後約二時間營々黙々として作業に従事し、兒童又克く作業の目的を理解し、「郷土の道路は我等の手で」の信念も堅く和衷協力以て道路愛護保全に精進せり

殊に高等科に於ける學級常會の活動當を得て定例日以外隨時に本目的の達成に邁進すべく、自發的に時日を定め特に交通頻繁なるヶ所の清掃、撒水等を実施し一般社會の感謝の的となる事例尠からず、亦同村男女青年團員は兒童に協力し毎月十日早朝氏神參

拜後、神社、墓地其他附近道路の清掃に協調し「徳孤ならず必らず隣あり」の感深大なるものあり、現に昭和十五年度に在りては作業日數二十四回、出勤人員三千二百四十人に及び多大の業績を收めたり、宜哉昭和十五年九月旌表を受ける等蓋し兒童赤心の發露なるべし、之れを以て一層自戒奮勵の目的達成に精進を續けんとする兒童の纖手嘉すべく推奨するに足る

#### 磐田郡豐濱村國民學校道路愛護會

本會は同校少年團を主體とし、昭和十一年知事の諭告に基き縣内五百の小學校に魁け率先結成したる團體なり、抑も本團に於ける道路愛護の動機は村内一部兒童等縣道路工夫の熱誠なる作業に感激發奮し、昭和八年四月自發的に作業團を編成し從來の慣行による神社の清掃と併せ、道路の清掃整理を晴天作業とし、不撓不掘の精神を以て精進し來りたるものにして遂に之れが全村部落の學童に感化を與へ動かすに到れり、當初之等の健氣なる公共奉仕の美譽も約二年の程は村人にも顧みられず其の純眞なる作業は恰も禪海の「青の洞門」の物語にも似たる節ありけんと聞く、嗚呼其の動機の純情と童心の勤行は同校教育の眞隨たる勞作教育の實踐的陶冶訓練による氣魂の顯れにして眞に敬虔の念油然而るものあり、而して同校に於ける少年團結成を機に本作業團を尊重強化に努め、校外生活指導の一様相として堅實の俗を興し専ら自主自

奮の風を奨め使命達成に邁進せるものあり、偶縣の道路愛護事業の勳獎に村當局と諮り現在機構其の儘を以て參加し、爾來一段と時運の動向に策動宜しきを制し村内を貫通せる府縣道及町村道全線を作業區域とし、所謂校外生活の教育道場に利用し毎週日、月、木を作業日に設定し、及交通情勢に應じて随時放課後實施せるものにして之れを學區別四分團の作業班を編成せるものなり、現に昭和十五年度に於て作業回数百十三回、出勤人員二萬三千三百九十六人、此延人員四千八十人に及び路面の修理清掃、側溝の浚渫、除草作業等翻翻たる日章旗掲揚の下に湖風膚を剪さき炎帝猛威を揮ふ時と雖學村豐濱建設の小さき胸を躍らせ渾身の腕を振り作業に終始し、亦常時道路の機能發揮に努め不斷の努力を注ぎ近時道路の面目を一新するに到り村民の感賞の的となり、近時作業を援助する者續出する等、父兄、職員、兒童三位一體の道路愛護運動となり、交通上の利便、果亦社會奉仕の精神作興に寄與する所甚大なり、今や縣内は勿論縣外各地の典型的勞作に肖んと欲し、參觀者頻なりと聞く、寔れ洵に青少年學徒に賜はりたる御勸語の聖旨を奉體し汲々として活躍する銃後少年の姿こそ涙くましく表彰に繼ぐに亦表彰前後四回に及ぶ聲譽を得たる五百の學童三千村民は感激發奮し將來を期する所あり、學村豐濱の建設完了の感ある等其業績以て範とするに足る

濱名郡鷺津町國民學校報徳道路愛護會

昭和十二年四月報徳精神に基き生産力擴充の一端として「吾等の道路を愛しませう」を標的に同校兒童を主體とせる報徳道路愛護會を組織し、道路の機能の發揮と勤勞教育の向上に邁進の多大の効果を挙げ今日に至れり

抑も同會の機構は初等科第五學年以上の兒童四百七十名を擁し會長に學校長を推し、相談役、世話役に現職員を充て而して作業區域は學區の關係上東西二部九班に編成したるも、既往の實績に徴し實踐的效果を收むることに着眼し之を十二班に改め、更に男女二部制とし各正副班長は兒童中より選出し各職員を指導監督に當らしめ、作業實施日を日曜日早朝と設定、各所在地神社境内の淨化、道路の修理清掃を一齊的に行ひ、其他隨時實施せるものにして、現に本年度に在りては日本精神の發揚、心身鍊成、勤勞作業として本運動に励め、殊に同校は裏山を利用し體位向上の施設として特有の健康路を開鑿し運動場の開設を行ふ等一般道路愛護作業に際しては同町道路愛護團體と連絡協定の上實施し、常例日以外の作業は凡て放課後に於て行ひ昭和十五年度に在りては出勤人員二萬四千四百五十人、此延人員三千六百七十七人に及べり、亦同校は特に校外生活指導の充實に徹底を期し報徳自治の實踐的施設に精進し其の業績顯著なるものあり、之等學校一致愛郷の至情

に燃ゆる美學に町民の感動熾烈なるものある等洵に選奨するに足る

#### 濱名郡新居國民學校少年報德會

報德精神に則り教職員協力一致の下に昭和十一年少年報德會を結成し初等科第五學年以上の兒童四百餘名の會員を擁し、専ら勤勞愛好の思想涵養並に隣保協助社會奉仕の精神的陶冶を圖り、之れが實踐として諸作業を計畫し就中道路愛護作業は兒童の心身に恰好適切なるものと認め課せられたるものにして、之れが機構は全町道學區域を二十班に編成年二回の定期一齊作業を設定する外毎日曜日早朝男女兩班毎に交替制を以て班長指揮統率の下に道路の修理清掃を行ひ、殊に西遠の名勝地新居、辨天海水浴場に通ずる道路其他臨時的に同校附近の淨化に努め、尙高等科兒童の實習時又は放課後を利用の路側の雜草刈、燒拂作業等年數十回に及び實施し、而して雜草類は試作農園地の肥料に充當し資源愛護を遺憾なく發揮し總て報德精神の眞隨に觸れ積極的に實踐躬行せられ近時著敷通路の面目を一新するに到り、交通上寄與する所多く一般町民よりは多大の賞讃を受くる等朗朗新居の建設に精進し現に昭和十五年度に在りては作業回數五十三、出勤人員四萬一千二百二人延人員五千二百四十八人に及ぶ等其の實績顯著にして推奨するに足る

#### 磐田郡浦川町國民學校少年團道路愛護會

昭和七年少年團創設以來學童の校外指導施設の一として實生活に最も價值多き道路の維持愛護を目標に勤勞運動を計畫實施し、今日に至れるものにして學區を通學區毎に分團組織に編成し、現に初等科第五學年以上三九四名は毎日曜日を作業日に設定し、各分團長指揮の下に教職員指導監督に當り、全區内の道路の修理、清掃、側溝の浚渫、除草作業を實施し、尙道路の損傷甚敷懸急修理を要する場合は隨時放課後に於て行ふ等崇高なる奉仕の精神を發揮し、殊に本團に於ける不撓不掘の道路愛護運動は同村警防團よりなる道路愛護會と相呼應し不斷の努力を傾注し、現に昭和十五年度に在りては作業回數五十二回、出勤人員一萬七千九百三十一人、此延人員四千四百八十五人に達し業積極めて顯著なるものある等、終始一貫純眞なる童心の勤勞奉仕は區民を感應動向するに至らざる事例あり、校外教育として精神陶冶訓練に好影響を齎らし、亦一般的に道路愛護思想に對する無言の教化を與へ一般社會に反映する所ある等其の功績推奨するに足る

#### 磐田郡池田村國民學校少年團

昭和八年六月校外教育を標榜し初等科第三學年以上の兒童を以て少年團を組織し、爾來本團事業として勤勞奉仕作業班を設置し

道路の維持愛護に精進せり

抑も本村は府縣道見付笠井線外一線貫通し、就中小市街地を構成する部落なるに鑑み街路の美化、公衆衛生上の見地より村内一團に亘る道路の淨化を圖り、毎月第二、第四の日曜日を一齋的作業日に設定し、通學區に基き之れを四分團に編成し、早起會として出勤路面の損傷修理、不潔物、危險物の除去、障害物の除去整理、側溝浚渫作業等各分團長指揮の下に自治的に實施し來り、更に昭和十二年十一月時局に鑑み勤勞精神作興に一段と之れが強化徹底を期し全區域の作業に従事する等凡て全職員を動員し指導監督に當らしめ和親協戮堅持たる精神の下に終始し、現に昭和十五年度に在りては作業回数四十四回、出勤人員一萬六千四百人、此延人員七千三百五十人に及び多大なる實績を收め全路線をして其の面目を一新せしめたり、此の純眞なる真心の作業に一般村民の感激する所となり、近時作業を應援するもの或は作業用具を寄贈する篤志者續出するに到れる等、尙將來積極的に本動運の使命達成に意氣旺盛なるものあり、其の業績眞に推奨するに足る

道路工夫 佐藤丈右衛門

明治十九年二月五日生

大正六年八月二日拜命以來府縣道板崎大仁線外一線延長七、五二七米を擔任茲に二十三年間精勵恪勤今日に及ぶ、本受持作業區

域は南豆を横斷せる觀光道路の一部にして、近時激増せる交通量に對應し營々として怠らす十年一日の如く只に眞面目を以て終始し常に良好なる路面状態を維持せしめ殊に提供材料乏しきに克く附近地河川より砂利を採集し路肩の修理等多年の經驗を以て收得せしめ技倆を發揮し其の實績を昂げつゝあり、現に居村消防手として靜岡縣警防團聯合會より二十ヶ年勤績功勞章を授與さるゝ等一般社會の信望厚く管内に於ける模範工夫として推賞するに足る

道路工夫 萩 坂 巳 作

勤績二十一年拜命以來府縣道伊東大仁線延長五、四〇〇米を擔當其の區域は大見川流域に屬する冷川峠を擁し、泉都修善寺伊東町に通ずる唯一の路線にして交通量特に多く從て道路の損傷甚數殊に坂路なるを以て寸時も等閑に附し難き實狀なるに克く多年の經驗より得たる技倆を發揮し補給材料乏しきに汲々として修理に終始し降雨等の際は全線を巡視し、側溝、橋梁等の障害物を點檢排水工作に務め亦工作物の破損に對する應急的措施に付ては極めて敏速に行ひ事故發生の防止に専念し、常に精勵恪勤後輩に範を垂れ業績顯著なるものあり、曩に土木部長より賞狀を授與せらるる等眞に推賞するに足る

道路工夫 佐野 惠 作

明治二十一年二月十一日生

大正十五年月拜命以來至誠を信條として勤務に精勵し現に府縣道吉原大宮線外二線延長五、二一一米富士山麓大宮登山口の交通量最も多き區域にして且つ維持困難を極むる火山灰地質の道路を擔任し殊に直線型のため急速度に通過する車馬による路面損傷甚敷も堅忍之れが保全に精進し降雨に際しては就業時間外と雖全區域を巡視し排水工作を施し、尙修理用材料等容易に得られざるに多年習得したる技術を發揮し克く保全の完を期し其の精勵振りは一般交通者の賞讃的なり、昭和十四年秋岳麓に於ける近衛師團天覽演習の初應援として出動の際愛兒の危篤を顯みず任務を果したるも遂に歸宅と同時に死に直面する等其の責任觀の熾烈にして職務に忠實なるやを窺はしむる等以て他の範とするに足るものなり

道路工夫 青島 金作

明治二十五年二月十五日生

大正九年六月拜命茲に二十年間終始一貫實直に勤務し現に府縣道久能清水停車場線外二線此の延長五、一二八米殊に重工業の中心地清水市内の全區間を擔當し事變下に於ける交通量頗に激増し路面の損傷甚敷常に至難なる道路にも不拘、克く之に對應し上司の命を遵守し汲々とし怠らず市街地路面の整形に専念常に適切有

效なる作業を行ひ特に交通障害物の整理作業災害時に於ける應急的處置等練熟せる技能を以て遺漏なきを期し其の實績に顯著なるものあり、且つ同僚の信頼厚く現に静岡土木出張所管内静岡工友會長に推闡せらるる等眞に他の模範たるべきものとす

道路工夫 小塚 繁太郎

大正七年四月拜命以來茲に二十四年現に擔當せる管内南部の要路たる府縣道御前崎相良線外一線延長五千六百五米を作業區域とし近時激増せる交通量に對應し克く鍛鍊せる技術を以て汲々として倦まず全く職域奉公の精神を以て精勵恪勤路面の維持保全に終始し、殊に橋梁其他の施設物の修理側溝、溝渠の浚渫排水に留意し常に全區に亘り整然たる道路の形成を圖るる等交通の安全に心血を注ぐ不斷の精神は洵に常人の企及し能はざるものにして又一面後輩の指導鞭撻に専心する等眞に推奨するに足る

道路工夫 山下 春吉

明治二十七年四月一日生

大正九年七月拜命以來勤績二十一年の永きに亘り十年一日の如く汲々として怠らず督勤以て今日に及ぶ、性溫良篤實責任感厚く其の擔當せる府縣道森大居線外一線延長五、八四九米名刹秋葉山道に通する交通最も頻繁たる道路を職場とし路型に細心の注意を

以てし、路面の構成附屬物の保持等研究に餘念なく専心維持保全に終始し良好なく業績を收めつつあり其の功勞著顯にして推奨するに足る

道路工夫 鈴 木 清 一

明治二十一年八月二十五日生

拜命以來拾七年有餘至誠滅私道路維持愛護に竭し現に中遠の樞要地袋井町を中心に國道一號延長五千二百米を擔當し一意保全方法を攻究し常に寸時を惜み細心の注意と周到なる用意を以て從務し、常時完全なる路面狀態を保持されつつありて全く他の路線に遜色なく、尙克く後輩を指導し性亦溫厚にして信頼あり衆庶の賞讃する所にして眞に一般の儀表とするに足る

道路工夫 野 中 源 太 郎

拜命以來茲に二十四年恪勤精勵今日に及ぶ、性溫順作業上の技能優秀にして常に路面勾配に研究的態度を以てし其の受持路線は工業都市濱松と遠洲北部物資の集散地引佐郡氣賀町を結ぶ最も交通量多き府縣道靜岡氣賀線延長五、四七六米を擔當黙々として精進し殊に近時補給材料の乏しきに勤務外時を利用して附近地より土砂利を採取し専ら保全に努むる等、亦常に克く後輩者を指導する等其の業績優良にして他の追従を容さざるものある等他の模範と

するに足る

表彰式 狀況

本縣に於ける表彰式に付ては管内七ヶ所の土木出張所所在地に於て舉行し當該土木出張所管内一般市町村長、縣會議員、各郡町村長を招待し、所員、道路工夫全員列席の裡に舉行せるものにして其の概況左の通

表彰式 舉行日程

日 時	土木出張所(冠名)	式 場
九月二十五日午前十時	濱 松	濱名郡實業團體事務所
九月二十六日午前十時	袋 井	袋井商業學校
九月二十六日午後一時	島 田	島田町第二國民學校
九月二十七日午前十時	靜 岡	縣廳内舊縣會議事堂
九月二十九日午前十時	下 田	賀茂郡實業團體事務所
九月三十日午前十時	三 島	田方郡實業團體事務所
九月三十日午後一時	沼 津	沼津市公會堂

式 次 第

- 一、一同着席
- 一、敬 禮
- 一、遙拜、祈願、默禱
- 一、開式之辭
- 一事業及審査報告

一、表彰狀、感謝狀授與

一、告 辭

一、祝 辭

一、被表彰團體總代答辭

一、閉式之辭

一、敬 禮

一、一同退席

事業並審査報告要領

本日は茲に昭和十五年度に於て道路愛護事業に御協力下さいました道路愛護團體並本事業に關聯し道路工夫に對する表彰式を舉行するに際しまして此處に事業報告と併せ審査の報告を致しますことは洵は欣快とする所であります。

尤も御手許に差上げて置きました道路愛護の印刷物を御覽下さいますれば其の全貌は御判りになることと存しますので詳細の事は柄は省略致します。恰度本年は道路愛護運動の發足以來第五回目の表彰式と言ふことになりませんが、茲に當初の年度からの實績に付て御參考迄に擧げて見ますれば、

昭和十一年度(自八月至翌年三月) 表彰團體數 八〇

同 十二年度 表彰團體數 四五、五二一人  
作業參加人員 一〇五

作業參加人員 一五九、八二五人

同 十三年度 表彰團體數 一三七

同 十四年度 作業參加人員 一八二、〇六二人  
表彰團體數 二九九

同 十五年度 作業參加人員 一、五四四、七二八人  
表彰團體數 三三二

以上の様に目覺しき進展を示し一年毎に向上しつゝありますことは縣勢の爲延ひては邦家の爲洵に慶賀に堪へない次第であります。

斯した實施團體の作業狀況は、何れの團體も臨戰體制下に於て極めて眞摯なる態度の下に實施されますことを拜見し眞に敬服して居るのであります。先づ直感致しますことは第一に作業集合同間が堅く實行され、第二に作業中は黙々として活動し休憩時間等は舊來の如き不規律な姿を見受けず、第三に作業方法が極めて要領よく側溝の浚渫、耳芝切、路面不陸直し、橋梁溝橋等の修理作業に終始せられ就中道路の維持修理に最も効果的な砂利、山土等の材料の採取運搬作業に従事せらるゝ等有効適切なる作業を實施する團體の數多く、尙更に一步進んで清掃修理の範圍を超越して幅員の擴張或は屈曲箇所のは正急坂箇所の切下等の改良方面の分野に迄進出して、工事を施行する向の年次續出するに到りましたことは、戰時下生産の擴充に又實生活上に寄與する點に於て意を強



ふするのであります。

殊に最近大政翼賛會に依る町内會、部落會、隣保班、隣組が設けらるゝと共に、夫々常會に於て道路愛護を強調されて興亜奉公日、常會日をトして作業を實施されますことを見聞致しますが、現下努力不足の折柄勤勞奉仕されますことに只々感激して居る次第であります。

殊に去夏數次に互つて全縣下を襲つた大水害の際は、地元町村の所有強力な各種團體が迅速出動され警防に應急又は復舊に一致團結し献身的に従事されましたので、災禍を輕少ならしめ且復舊の實を挙げられましたことは眞に銃後の禍害を極減せられた業績は甚大なるもので、之れに對し感謝の外はないのであります。

斯様に作業を實施されました前年度中の実績に徴しまして、夫々實施團體に付縣下八ヶ所の土木出張所の報告を綜合致しまして審査するのであります。何れの團體も優良と認むるものばかりで、之れに對して甲乙の優劣、等差を附することは容易に出來難いのであります。要するに團體の規模に依つて出勤人員の寡多もあり又作業區域の長短にもあり、路面の維持状況の良否を一概に斷定し難く、尙道路愛護思想の普及程度も斟酌する等殊に多數團體のことでありますので細密に互つて深重審査した譯であります。次に道路工夫に付きましては、多年勤續者にして成績顯著なる者と技術優秀にして成績優良なる者を選奨したのであります。

要するに道路愛護運動開始以來漸次進展の域に進みつゝあることは一般縣民の方々が此の臨戰體制下にあつて道路が軍事上、經濟上重要なことを認識されましたことを如實に示すもので、而も國土計畫の提唱せられつゝある今日眞に以て慶福に堪へない次第であります。

何卒臣道實踐の一翼として今後實踐の昂揚に努められまして本事業の使命達成に御協力の際を期待して止まないものであります。以上を以て報告と致します。

告 辭 要 領

茲に第五回道路愛護團體並道路工夫の表彰式を舉行するに當りまして多數各位の貴臨を辱ふ致しましたことは寔に欣快に堪へない次第であります。

抑も道路愛護思想の普及を圖り以て勤勞奉仕の精神を旺盛にし而して道路の整備保全を期することは現下交通の狀勢に鑑み極めて喫緊の業務なるのみならず、之等の行爲は一面社會奉仕の精神を涵養する上に於ても極めて必須の事項と存するのであります。

殊に臨戰下に際し公共的施設物愛護の美風を作興し進んで地方文化の開發に寄與せんとするは眞に臣道實踐の趣旨に合致する所にして縣民等しく思を致すの要あるを覺ゆる次第であります。惟ふに本縣の道路は漸次改良整備の途上にありと雖も尙安逸するを許さず、近時益々交通量の増加するに伴ひ道路の破損も甚敷、

縣費のみを以ては到底所期の目的を達するを得ず只管縣民一致の協力に俟つ外なしと思科して足る次第であります。

即ち曩に道路愛護運動を懲憑するや、市町村並各種學校當局に於ては克く其の趣旨を體し爾來之れが勸奨に努めたる結果、其の成績は漸次向上の一途を辿り、今回に於ては他府縣に遜色なき實績を收めたることを喜び居る次第であります。

冀くは本日茲に臨席の各位は將來倍々精進し實踐躬行の實を擧げ以て社會奉仕に寄與せられんことを切に望んで止まぬ次第であります。

尙道路工夫諸君は道路報國の第一線に立つて職域に精勵せらるゝことは常に感激して居るのであります。本日茲に受賞せられたる諸君に在りては之を以て滿心せず一層専心以て職域の爲充分なる奉公を致されんことを望む次第であります。

茲に所蒙の一端を述べて告辭と致します。

### 祝 辭

本日茲に第五回道路愛護優良團體の表彰式を舉行せらるゝに當り不肖臨席するを得ましたことは寔に光榮とする所であります。

抑も本縣道路は國府縣道、市道町村道を問はず累年に互る災害の影響を受けまして、其の改良は勿論維持修繕に於ても完璧を期するに至らざる觀があるのであります。

従つて臨戦下に直面して交通並に生産擴充に満足を期するに至

らざるは甚だ遺憾とする所であります。

而し近年道路愛護思想の普及發達に伴ひまして此の種團體の目覺しき活躍によつて其の足らざるを補ひ、引續き實績を擧げられつゝありますことは寔に欣快に堪へないのであります。惟ふに道路は人文の發達殖産興業の振展に寄與し延ては國運の消長にも影響する所大なるものであります。之が整備改良を計ることは時局克服の要諦でありまして萬人が等しく認識し又留意すべきことであるとと思ふのであります。

顧みるに本縣が道路愛護運動を強調せらるゝや、爾來實行團體は全縣洽く其の結成を見るに至りまして其の活躍は年と共に益々熾烈の度を加へつゝある状態に在り、亦一面思想善導の美風と勤勞奉仕的精神の高揚に裨益しつゝあることは社會風教上寔に慶賀に堪へない所であります。

冀くは本日受賞の光榮に浴しました各位は勿論、其の他の者に於かれても倍々發奮興起して道路愛護の使命達成に貢獻せられませう一言無辭を述べて祝辭と致します。

昭和十六年九月 日

静岡縣町村長會長 山口 忠 五 郎

### 答 辭

受賞者一同を代表致しまして謹で答辭を申し上げます。

本日茲に静岡縣道路愛護獎勵規程に依ります所の表彰式を舉行

せらるゝに當りまして、本縣知事閣下代理道路課長殿を始め各位の御臨席を忝うし光榮ある此の式場に於て不肖新所村道路愛護會外九十一團體に對して表彰狀或は感謝狀を授與せられ、尙亦獎勵金の交付を受けましたことは最も光榮且つ感激の極みで御座います。

顧ふに輓近社會交通機關の發達に伴ひまして、文化の普及産業の進展の爲め道路の表裏性は愈々切實に地方産業の興隆上最も密接なる關係を持つて來たことは殊更であります。

吾々地方人が此の認識を持ち、此の道路の恩恵を惟ひ、此の道路を尊重愛護し、之が維持保全に努力し、又以て地方の福利の増進に寄與することは當然の責務ではないかと考へらるゝのであります。

昭和十一年八月知事閣下の諭告發布と共に、吾々は道路愛護の集團を作りまして、この趣旨を體し、當然の義務として只一肩の力を致して來たに過ぎません。

今回圖らずも表彰の榮譽を享け、只今は來賓各位よりも御鄭重なる祝詞を戴きましたことは却つて恐懼の外御座いませぬ。

今後は益々和衷協力社會奉仕の赤誠を捧げまして以て道路の保全改良に留意し今日の榮譽を永遠に持續せんことを期する覺悟で御座います。

誠に蕪辭で御座いますが答辭と致します。

昭和十六年九月二十五日

新所村道路愛護會會長  
新所村 長

答 辭

惟ふに交通運輸機關の整備は文化の普及産業の發展伸長に最も密接なる關係を有し、其の施設の良否は民力の消長國運の隆替の影響する處甚だ大なるものあり、就中道路は人體に於ける血管にも比すべく地方に普く分布し、其の利用の範圍亦極めて廣汎なれば之が維持改善は刻下喫緊の要務なり。

本村等當局の指示に基き各種團體の協力に於て施行致したるのみに不拘、本日斯くも盛大なる表彰狀授與式を舉行せられ感激に不堪ある處なり。

本日の榮譽を契機に今後一層各種團體と協力以て道路愛護の念を涵養し施設作業に貢獻し以て臨戰態勢の確立地方産業の完璧に寄與せんとす。

昭和十六年九月二十六日

被表彰者總代

小笠郡六郷村長 石原喜一郎

答 辭

本日茲に本縣道路愛護獎勵規定に依り、表彰式を舉行せられまして、私共圖らずも之の表彰の榮譽を蒙りましたことは誠に感激

に堪へない所で御座います。

私共は只縣民として此の日進の社會に處して各自の實生活に最も價值多き關係道路の愛護に奉仕したのでありまして、寧ろ當然のことを爲したに過ぎません。

しかも、其の實績も亦見るべきものも御座りませんにも係らず之の光榮を得ましたことは洵に忸怩たるの感に堪へない所で御座ります。

今や我が國は未曾有の重大時局に直面致しまして、あらゆる艱難を克服して一億一心聖戰の目的完遂に邁進しなければならぬ秋でありまして、内は文化の普及、産業の發展伸長に總力を擧げなければならぬのでありまして、之に最も密接なる關係を有する交通機關、就中普く地方に分布せられ、其の利用の範圍も亦廣汎である道路の維持改善は最も喫緊の要務と存じます。

私共は今後一層和衷協力奮勵致しまして、本日の榮譽を汚さんことを期し、以て選奨の光榮に報ゆるの覺悟であります。

茲に被表彰者一同に代りまして一言御禮を申上げ以て答辭と致します。

昭和十六年九月二十六日

葉梨村道路愛護會會長 長谷川久一

答辭

聖戰五年秋蘭の今日茲に靜岡縣道路愛護團體の表彰式を舉行せ

られ、庵原郡由比町外五十二ヶ團體を初め、弊村道路愛護會又不

計も其の光榮に浴し、一村の名譽蓋し量り知るべからざるものあり、永く村史に傳へて倍々之が目的完遂に勉めんとするものなり。抑々道路愛護の精神たるや單に一町村道路の良否に關するものに非ずして、隣保共助一致團結の美風を涵養し眞に大政翼賛臣道實踐の日本精神を昂揚し練成するもの道路愛護會を以て最も尤なるものと信ず。戰時下重要物資の運輸に搬出に道路の重要性は俄かに倍加せられたる今日、之が改善發達は急務中の急務に屬し、特に農山村の木材搬出就中軍用材需給激増の今日に於ては從來等閑勝なりし山村地方の道路改修には焦眉の急を要するものあり、本縣當局又之に留意せられ、臨戰即應の態勢を整へらるゝは寔に喜ぶべき次第にして、吾等又上意に呼應して協力一致道路愛護の理念に徹し倍々之が改善發達に寄與せんとするものなり。上司に於かれても猶一層指導鞭撻を給り相共に道路交通の完備と聖戰目的完遂の爲め粉骨碎身の誠を致さんことを誓約し以て答辭となす。

昭和十六年九月二十七日

安倍郡玉川村長 油上甚太郎

答辭

謹んで受賞者一同を代表致しまして答辭を申述べます。

天高く肥馬風に嘶くの好季誠に血湧き肉躍り何等か勤勞を欲し  
て止まず、時靜岡縣は茲に昭和十五年度に於ける成績佳良と認め

る市町村道路愛護會の表彰式を舉行されました事は誠に意義あることと存じますと共に、不肖我々が其の選に入りました事は望外の光榮として感激の外無いのであります。

想ふに道路愛護の事業は情操の上よりも、國民奉仕の上よりも頗る大切な事で、而も手近に如實に實行し涵養し得る機關で、小にしては道路の清掃より、小破の修繕、雨水の排水、路形の保存等は多人數を要さないでも會員個々の精神發露で立派な仕事が出来上ります。況んやこの精神で教養された集團でありましたら如何なる天災地變による道路の障害も一と時を出ぬ内に應急開通を觀ることは何んでもありません。坦々として清掃された道路が帯の如く一線をなして端なく連續することは如何に我々に快感を與へることとせう。我々の僅かな勤勞奉仕で快よい交通路と安全なる運輸路を提供し得ることは我々の誇りでなくてはなりません。況んや現下の臨戰態勢に於ては内地と雖も作戦上、軍需輸送上、道路の確保は其の土地の住民の義務であると信ずるものであります。

縣當局が本事業に至大の力癩を入れらるゝも蓋し此處にあられると思惟致します。我々は自ら省みて表彰の價値なきものと慚愧に堪えぬのであります。御趣旨を推戴致しまして愈々愛護の精神を涵養し愛護の實行に努力致しまして、本日之光榮の萬一に酬ゆる處あらんことを期しまして答辭と致します。

昭和十六年九月三十日

受賞者總代

靜浦村道路愛護會長 増 田 由 藏

答 辭

本日は私共町村道路愛護會並に學校其他團體に對し、道路愛護の表彰狀及感謝狀授與式を舉行されました事は誠に光榮とする所であります。

申上げる迄もなく、道路は文化並産業の尖端でありまして、現在の道路は當路者の御指導と相俟つて相當完備されて居るのであります。然るに如何に立派なる道路網が完成せらるゝも道路を愛し且つ之を保護するに非ざれば、恰も機械に油を注がざると同様其の效用を減殺されるのであります。

而して之を當局のみに依存し顧みざるは町村自治の本義にも悖るを以て、私共は只町村内に於ける道路に對し多少の關心を持つたに過ぎず何等爲す所無きに不拘、今日の榮譽を荷ひました事は誠に恐縮の次第であります。

此の上は本日の榮譽を記念として一層道路愛護の念を強化し、以て本日の光榮に報ひん事を御誓ひする次第であります。

以上無辭を呈しまして答辭と致します。

昭和十六年九月三十日

被表彰者總代

田方郡對島村道路愛護會長、平澤 億 太 郎

答 辭

本日は道路愛護に關する表彰の式を擧げられ、生憎の大雨にも拘らず態々縣御當局の御臨席を忝ふ致しました上、來賓方の御來列を頂きました事を受彰者として誠に光榮且恐縮に存じます。

殊に只今は御鄭重なる審査の御報告を伺ひ、續いて輝く表彰狀感謝狀等の數々や御手厚い御賞めの言葉を頂戴いたしました洵に有り難く且光榮に存じます。

顧ふに、私共が本日の此の名譽を荷ひ得ましたのは、實は縣御當局の方々の御懇切なる御啓導によりまして、足らずながらも立上りましたもので、未だ年數を経る事も淺く、致しました事業も其の技も決して充分では有りません。誠に汗顔至極であります。

でも市町村の方々と道路工夫の皆さんには、中々の御苦心もあり金に人に相當額の費へも有り、従つて其の業績にも見るべきものが多々御座いませうが、私共國民學校方面はたゞ形ばかりでは是ぞと言つて擧げ得られる様なものはありませんが、私共の狙ひ處は此の奉仕作業を一つの教育の機會として子供等が行くは天下公の道路に對して當然持つべき心構や實踐の途を知らしめ、愛護に保全に出來得るだけを盡して住みよき世の中を作り、延いては刻下高調せられつゝある勤勞を尊重し、國民皆勞の大運動へのつながりにもと存じて居る次第であります。

本日御表彰を機として更に次々への精進邁往の方策を樹て御高慮にお報ひ申上げ度き所存で御座いますが、何卒此の上とも御導きを仰ぎ度く御禮申述べると共に、お願ひ申入るゝ次第で御座います。

尙末ながら上司の方々への御取なしの儀をも失禮では有ります。が宜しく御願申上度以上を以て答辭にさせて頂きます。

昭和十六年九月三十日

三島市南國民學校校長 佐々木 秀 哉

其他 頌 彰 關 係

道路改良會長 道路功讀者表彰

紀元二千六百年竝に道路法施行滿二十週年記念事業として道路改良會長より表彰せられたる功績者中、道路愛護團體並道路工夫左の通にして夫々傳達式を擧行し痛く感激を與へたり。

道路愛護團體

富士郡元吉原村道路愛護會

磐田郡豐濱尋常高等小學校道路愛護會

道 路 工 夫

三島土木出張所 佐藤 源 作

濱松土木出張所 太田 正 雄

橋梁類焼の際に於ける功勞者頌彰

昭和十六年一月三十一日管内磐田郡掛塚町地内府縣道濱松、掛

塚線天龍川に架設せる掛塚橋附近、中洲川原草生地より出火し、時恰も風速二十米突の巽風に附近一帯に燃え擴がり、既に同橋に延燒せし際磐田郡掛塚町國民學校少年消防隊は逸早く現場に馳付寒風膚に徹す酷寒零下數度加之烈風をも厭はず而も風下に位し濛々たる砂塵と火焰と視界を阻まれたる天龍川原地水溜より吸水運搬作業に活躍し極めて規律整然たる動作の下に消火に努め、中央部八徑間中塵除九組を全燒し、橋脚八組中一部燒失程度に之れを喰ひ止め同橋をして燒失落橋の厄より免れしめ、附近住民より賞讃の的となりたり。萬一同橋燒失の厄に遭はんか、此の重要な指定府縣道は忽ち交通杜絶し、現に〇〇方面の重要施設物建設中の資材輸送不能の状態に陥るを以て一大支障を來すと共に、天龍川東岸地方より濱松市方面の連絡は絶たれ河中の一孤島たる掛塚町民の不便不自由は元より、今日の資材缺乏の折柄特に全橋の燒失を免れしめ損害を最小限度に止め得たるは一に同少年消防隊の活動に因るものにして、尙本火災に際し同所小笠原昇平氏は出火發見と同時に直に隣村河輪村地内に於て道路工事に従事中の入夫九名を引率、迅速現場に出動消火に最も効果的のシヨベルを使用挺身以て消火に努めたる結果、同橋の災禍を輕少ならしむる等其の功勞洵に顯著にして亦一般交通上に寄與する所甚大なるものにして殊に時局下に於ける銃後國民の赤誠を發揮し、將亦公共物愛護の儀表者として之れを推賞し感謝狀並慰勞金を贈呈せり。

感 謝 狀

磐田郡掛塚尋常高等小學校少年消防隊

右者昭和十六年一月三十一日磐田郡掛塚町地内府縣道濱松掛塚線掛塚橋類燒ニ際リ迅速出動協力一致消火ニ努メ以テ災禍ヲ輕少ナラシメ一般交通上ニ寄與スル所甚大ナリ、其ノ行動ハ戰時體制下ニ於ケル少年學徒ノ儀表ニシテ其ノ功勞眞ニ推賞スルニ足ル。仍テ茲ニ金壹封ヲ呈シ感謝ノ意ヲ表ス。

昭和十六年四月十日

靜岡縣土木部長地方技師從五位勳五等

感 謝 狀

磐田郡掛塚町 小笠原昇平

昭和十六年一月三十一日磐田郡掛塚町地内府縣道濱松掛塚線掛塚橋類燒ニ際リ、附近住民ヲ動員シ迅速出動消火ニ努メ以テ災禍ヲ輕少ナラシメ一般交通上ニ寄與スル所甚大ナリ。寔ニ戰時體制下ニ於ケル銃後國民ノ儀表ニシテ其ノ功勞眞ニ推賞スルニ足ル。仍テ茲ニ金壹封ヲ呈シ感謝ノ意ヲ表ス。

昭和十六年四月十日

靜岡縣土木部長地方技師從五位勳五等

大 石 巖